



「自転車でゆく上高地(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

誰もが憧れる上高地の風景。かつての上高地は、狭い「旧釜トンネル」と悪路の県道しかなかった。結果、常に大渋滞が発生し、排気ガスによる植生の破壊も問題になっていた。また、スノーシェッド(トンネル前後の洞門)の崩落や、土砂流入などで通行止めになり、上高地は何度も孤立状態を経験している。

2車線の「新釜トンネル」が開通してからも、交通問題は解決されず、現在、上高地への長野県道は、一般車は通年で通行禁止になっている。松本方面から上高地へ入るには、電車とバスを乗り継ぐか、沢渡(さわんど)駐車場で自家用車を停めて、バスかタクシーに乗り換える以外に方法がない。

しかし、幸い「軽車両」は規制対象外である。もともと「環境の保護」がマイカー規制の理由なので、直接排気ガスを出さない軽車両を規制することはできないのだ。つまり、自転車や馬・牛(馬・牛も道路交通法上は軽車両)なら、上高地への県道を通れるわけだ。(実は動物は国立公園特別保護地区の別の規則で入山禁止。)私は過去に2回、初夏と秋に自転車で上高地まで行ったことがある。今回は懲りずに3度目である。前回2回は、午前中に行ったので、今回は午後にした。夕暮れのアルプスを見たいと思ったからだ。旅行記を、何度かに分けてレポートしてみたい。



「パナソニック製・オフタイム」 電動アシスト・長距離走行可・軽量・折りたたみ式の最強自転車。

自転車を車に載せて、北軽井沢を出発、上田 IC から松本 IC まで高速。このあたりは渋滞は一切ない。インターを下りるとさっそく「上高地」の標識があり、期待感が高まる。大型連休で一般道はやや車が多かったが、上高地の麓まで渋滞は全くなかった。



松本から1時間ほどで、国道154号線(松本～高山)と上高地への県道の分岐点に着く。県道の入口である釜トンネルには、警備員が立ち、一般車(マイカー)の進入を制限している。どんなマイカーも「まーいっか」と通してはくれない。



ここから1kmほど先の駐車スペースに車を停める。自転車を降ろして、身支度を整える。いきなり釜トンネルの急登が待っているの、準備運動も欠かせない。サア、上高地へのサイクリングのスタートだ。